

いしだたみ

No.145

2004年7月

『本に親しむことにより、子どもたちに日本語のゆたかさ
と美しさを伝えていきたい』 (県教育長あいさつより)

.....「ながさきおはなしフェスティバル」延べ1,500人の参加.....



おはなしや紙芝居に子どもはもちろん、お父さんお母さんも夢中



川端 誠氏の講演(絵のもつ力を教えられました)



立石教育長も本の大好きなおじさんですとあいさつ

去る4月24日長崎ブリックホールで読書を通して子どもたちの健やかな成長を願う目的で「ながさきおはなしフェスティバル」を開催しました。

親子連れを中心として延べ1,500人の参加者で会場は埋まり、絵本作家の川端 誠氏の講演や、県内のボランティアの方々による絵本の読み聞かせや交流等、親も子も本と共に楽しい一日を過ごしました。

来年は県北地区に会場を移して、アルカス佐世保で開催する予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

もくじ

- ◎「ながさきおはなしフェスティバル」を開催しました P 1
- ◎子ども読書活動で文部科学大臣表彰を受賞 P 2
- ◎長崎県子ども読書活動の取り組み P 3
- ◎「冬のソナタ」を探すには(図書資料検索の目安) P 4
- ◎学校・公共図書館連携ガイド完成 P 6
- ◎「長崎とロシアの200年」展のご案内 P 7
- ◎「長崎居留地外国人名簿」Ⅲを編集・発行しました P 7
- ◎市町村図書館等紹介・行事案内(7月~12月) P 8



子ども読書活動で文部科学大臣表彰を受賞

平成16年度子ども読書活動優秀実践図書館・団体として、文部科学大臣表彰を受賞された『佐々町立図書館』と『西諫早子どもの本を楽しむ会』を御紹介します。

「大きくなあれ」

—佐々町立図書館 児童サービスへの取り組み—

「おおきく おおきく おおきく なあれ。」
読み聞かせの声と幼児の声が一緒になって温かく響く。次のページは甘い香りまで漂ってくるような大きなケーキ！子どもたちの笑顔がはじける。

5年前、図書館の開館と同時にボランティアグループによる乳幼児対象の読み聞かせが始まった。まもなく学童対象も加わり、現在月10回の「お話会」が開かれている。

図書館では、読書に関する講座や講演会を開催して、活動を支えてきた。

また、近隣の町で活動しているグループとの交歓交流会を開き、情報交換の場としている。

3年前から図書館職員も仲間に入り、少し大きくなった子どもたち向けの読み聞かせに挑戦しているところである。成長していく子どもた



ちにずっと読書の楽しみを届けられるように、これからは職員の出番だと思う。

また、蔵書の3割を占める児童書を多くの子どもたちが手にとってくれるように、並べ方や案内表示・特設コーナーに工夫を凝らし、0歳から中・高生までの「当館お薦め本リスト」を作成した。

今回の受賞は、関係の方々からの温かい励ましだと受け止めている。まだまだ未熟な生まれての図書館に「大きくなあれ」と。

(館長 末永 嘉代子)

西諫早子どもの本を楽しむ会 〈ぐるんぱ〉

私たちの会は、24年前に、子どもの本の好きな親たちが始めた小さな集まりでした。場所は一會員の自宅で、本なども個人のものでした。

その中で、近所の子どもの本たちにお話を語ったり、絵本を読んだりして、子どもと一緒に楽しんできました。

当時、西諫早公民館図書室はあったのですが、子どもの本の数も少ない上に、借りることもで



きませんでした。

そこで、私たちは、ひとりでも多くの子どもたちに、素晴らしい本と出会ってほしいと思い、この図書室へ、読み聞かせの場所を移しました。このような活動が、西諫早分館のできるきっかけになったと思います。

現在、私たちの活動は、諫早図書館・西諫早図書館でのお話会、諫早市内の小学校訪問（8校、クラス単位含）、学童・幼児クラブ、特別養護老人ホームへの訪問などです。

今回の文部科学大臣表彰受賞は、その反響の大きさに驚いています。

私たちの会もメンバーが増え、現在20人です。お話を語るのが好きな人、わらべうたや手遊びが得意な人、手話のできる人などが集まり、楽しく活動しています。

ここ数年、訪問件数が増え、その準備などで、一番基本である子どもの本の勉強が、十分できていないのが悩みでもあります。

課題が山積みしている私たちですが、あせらずに、この会を長く続けていきたいと思っています。
(代表 杉澤 寿美子)

「冬のソナタ」を探すには……

図書館に行って、自分の読みたい本がどこに置いてあるのかわからなくて迷ったことはありませんか？

今回は、たくさんの図書資料の中から自分の探したい本を少しでも早く見つけるための目安を、簡単に紹介したいと思います。

公立図書館のほとんど、大学や学校図書館の多くが「日本十進分類法=Nippon Decimal Classification 略称NDC」という共通のルールに基づいて整理分類を行っています。

十進分類法は、1類～9類の数字を使って分類し、どの区分にも属さない全般的なものに0類を用いる分類法です。

県立長崎図書館も所蔵している70万冊を超える図書資料を「日本十進分類法」で整理分類し配架され、県民の皆様に利用していただいています。

★「日本十進分類法の分類区分」

0類：総記		1類：哲学		2類：歴史	
00	総記	10	哲学	20	歴史
01	図書館・図書館学	11	哲学各論	21	日本史
02	図書・書誌学	12	東洋思想	22	アジア史・東洋史
03	百科事典	13	西洋哲学	23	ヨーロッパ史・西洋史
04	一般論文集・一般講演集	14	心理学・道徳	24	アフリカ史
05	逐次刊行物	15	倫理学	25	北アメリカ史
06	団体	16	宗教	26	南アメリカ史
07	ジャーナリズム・新聞	17	神道	27	オセアニア史・両極地方史
08	叢書・全集・選集	18	仏教	28	伝記
09	貴重書・郷土資料・その他	19	キリスト教	29	地理・地誌・紀行

3類：社会科学		4類：自然科学		5類：技術	
30	社会科学	40	自然科学	50	技術・工学
31	政治	41	数学	51	建築工学・土木工学
32	法律	42	物理学	52	建築学
33	経済	43	化学	53	機械工学・原子力工学
34	財政	44	天文学・宇宙科学	54	電気工学・電子工学
35	統計	45	地球科学・地学	55	海洋工学・船舶工学・兵器
36	社会	46	生物科学・一般生物学	56	金属工学・鉱山工学
37	教育	47	動物学	57	化学工業
38	風俗習慣・民俗学・民族学	48	植物学	58	製造工業
39	国防・軍事	49	医学・薬学	59	家政学・生活科学

6類：産 業		7類：芸 術		8類：言 語	
6 0	産業	7 0	芸術・美術	8 0	言語
6 1	農業	7 1	彫刻	8 1	日本語
6 2	園芸	7 2	絵画・書道	8 2	中国語・その他の東洋の諸言語
6 3	蚕糸業	7 3	版画	8 3	英語
6 4	畜産業・獣医学	7 4	写真・印刷	8 4	ドイツ語
6 5	林業	7 5	工芸	8 5	フランス語
6 6	水産業	7 6	音楽・舞踊	8 6	スペイン語
6 7	商業	7 7	演劇・映画	8 7	イタリア語
6 8	運輸・交通	7 8	スポーツ・体育	8 8	ロシア語
6 9	通信事業	7 9	諸芸・娯楽	8 9	その他の諸言語

9類：文 学	
9 0	文学
9 1	日本文学
9 2	中国文学・その他の東洋文学
9 3	英米文学
9 4	ドイツ文学
9 5	フランス文学
9 6	スペイン文学
9 7	イタリア文学
9 8	ロシア・ソヴィエト文学
9 9	その他の諸文学



【参考】県立長崎図書館の図書資料年間増加数
及び平成16年3月末時点の蔵書総数とその構成比】

区分 分類	年 間 増 加 数			平成16年 3月末蔵書	構成比 (%)
	平成13年度 (冊)	平成14年度 (冊)	平成15年度 (冊)		
0 総記	1,327	1,019	988	38,841	7.0
1 哲学	2,299	1,607	1,441	31,293	5.7
2 歴史	3,716	2,536	2,558	56,841	10.4
3 社会科学	7,420	5,734	6,060	113,979	20.8
4 自然科学	3,246	2,575	2,183	36,747	6.7
5 技術	3,713	2,770	2,969	40,069	7.3
6 産業	1,751	1,136	1,411	27,521	5.0
7 芸術	3,767	2,482	2,658	47,007	8.6
8 言語	944	595	601	11,979	2.2
9 文学	11,172	6,348	6,882	144,211	26.3
本館計	39,355	26,802	27,751	548,488	100.0
子供室・ 郷土資料等	15,073	7,827	5,343	188,127	
合 計	54,428	34,629	33,094	736,615	

もしあなたが、「冬のソナタ」の小説をさがしているのなら…

9 2 9

「冬のソナタ」で韓国語を勉強したいなら…

8 2 9

「冬のソナタ」ロケ地や出演者のことを知りたければ…

7 7 8

韓国に旅行に行ってみたいと思っているのなら…

2 9 2

となります。
目的の本がすぐに探せるのも分類番号のおかげなのです。

学校・公共図書館連携ガイド完成！！

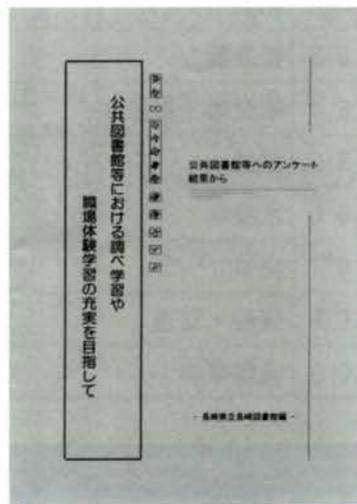
本年4月、学校・公共図書館連携ガイド「公共図書館等における調べ学習や職場体験学習の充実を目指して」を発行いたしました。今後、豊かな学力や生きる力を身に付けた子どもたちを育てるために、調べ学習や職場体験学習を深めるための一助として、御活用下さい。

1 主なねらいは・・・

児童・生徒が公共図書館等を利用した調べ学習や職場体験学習等を実施するにあたって

- 学校と公共図書館が一層連携を深めるためには
どうすればよいか。
- 子どもたちの調べ学習等の内容を一層深めるためには
どうすればよいか。
- 教師と図書館職員がそれぞれ役割を十分に発揮するには
どうすればよいか。

などの諸問題に具体的に対応することを目的としています。



2 特徴は・・・

- 「事前の準備」「直前の準備」「当日の留意点」「事後の留意点」に分けて、具体的な対応例を示しています。
- 抽象論を避けて、できるだけ学校現場や図書館現場で生じる事例等に焦点をあてています。
- 実際に活用できる資料を数多く掲載しています。

3 配布箇所

- 県内全小・中・高等学校及び市町村教育委員会
- 県内公共図書館・関係教育機関



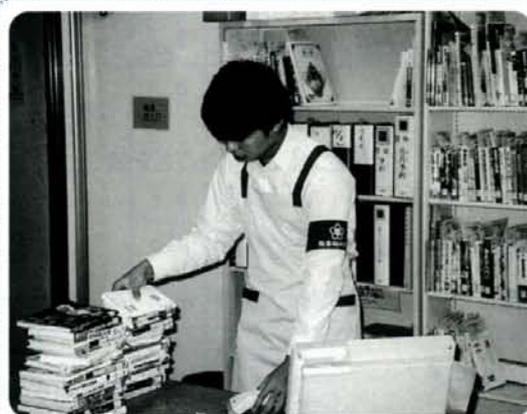
職場体験の感想紹介

昨年度、県内中学校6校から15人・県内高校から4人・県内大学から4人の皆さんが本館にて職場体験を実施しました。

一部、感想を抜粋して紹介させていただきます。

それは、返却受付の時に、「ありがとうございました。」と言うと、一人のおばあさんが「どうも、ありがとうございます。」と言ってくれたことです。それがとても嬉しく、「ああ、この仕事はやり甲斐があるなあ。」と感じました。
(中3男子)

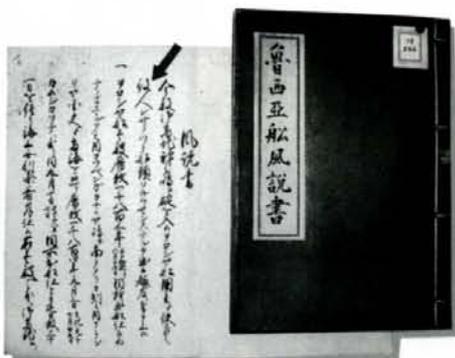
職場体験をしてみて感じたことは、僕はただ本を貸したり返却したりだと思ってたけど、その他に、本を見やすく並べたりすることです。簡単だと思うけど、何万冊もある本を分担してやるけど、足がすごく痛くなります。
(中2男子)



一人でも多くの若者が、図書館での職場体験から育つことを期待しています。

「長崎とロシアの200年」展のご案内

今年、2004(平成16)年は、1804(文化元)年のロシア使節レザノフの長崎来航から200年目、1904(明治37)年の日露戦争開戦から100年目にあたります。このように、長崎との関係が深いロシアについて、「長崎とロシアの200年」と題し、本館史料を展示しています。



[期 日] 平成16年8月末まで
 [場 所] 本館4階 郷土課展示室
 [展示時間] 9時30分～17時(休館日を除く)

『幕末・明治期における長崎居留地外国人名簿』Ⅲを編集・発行しました

1876(明治9)年から1900(明治33)年までの長崎居留地外国人名簿史料である本館所蔵「各国人員并戸数調表」を翻刻(活字化)したもので、平成13年度より刊行してきた外国人名簿の3冊目(完結)です。居留地研究の基礎史料として、また、居留地観光の新たな素材としてご利用下さい。



〈活用例〉

1. いつ、どこに、誰が住んでいたのかが具体的に分かります。

グラバー園で有名なトーマス・グラバーは、1881(明治14)年1月の調べでは、南山手(浪ノ平山手)1番地に「ティー、ビー、ガラハ」と登場します。

2. 生涯学習における居留地巡りや居留地に関する新たな観光素材にもなります。

1887(明治20)年の名簿を手にも明治20年の居留地巡りを行うなど、ある特定の時期の居留地を具体的なイメージを持って歩くことができます。

3. 海外の研究者のみならずご子孫の方々にも、ご先祖の長崎における活動の一端を示すことができます。

カタカナで表記された西洋人について、一部ですがアルファベット表記の一覧表を掲載しています。

本書は非売品ですが、県内の公共図書館・大学および都道府県立図書館等に配布しておりますので、どうぞご利用下さい。

市町村図書館等紹介

波佐見町図書館

やきものの町の図書館から

波佐見町図書館は従来からあった公民館図書室から、平成10年3月に総合文化会館（ウェイブホール）がオープンしたことにより、同館内に移動し、その後、平成16年4月に図書館設置条例が制定されたことにより「波佐見町図書館」と名称が変更されました。

館内には、様々なニーズや多彩な情報を提供するためのインターネットができる端末及び蔵書検索のための端末をそれぞれ1台ずつ設置するとともに、迅速な対応を期すため最新の図書館システムを採用し、サービスの向上に努めています。

さらに、移動図書館としてライオンズクラブから寄贈された「ライオン号」も備えているものの、事情により巡回は行っておりませんが、



地区PTAが自主的に活用しており、さらなる読書推進を図るため、各地区の自治公民館に広く活用を呼びかけているところです。

蔵書については、2万7千冊程度とまだまだ少ない状況ですが、特徴としては本町とゆかりのある方々からの寄贈資料を配架した福田清人文庫、永井路子文庫、今里廣記文庫があり、また、やきものの町ならではの陶磁器関連資料も充実させています。

図書館の事業としては、特筆するものはありませんが、毎月第2土曜日にボランティアによる絵本の読み聞かせが行われています。

今後、ボランティアグループとともに、子ども読書の推進のため、各個人が薦める絵本の紹介や展示会なども行う予定にしています。

平成16年度行事案内（7～12月）

- | | |
|--|---|
| 7月 古文書解読講習会〔初級〕
（26日 本館、27日 佐世保市）
第1回県立長崎図書館講座（31日 本館） | 10月 県地方史研究会第2回発表会
（30日 外海町） |
| 8月 古文書解読講習会〔中級〕
（3～4日 佐世保市、5～6日 本館） | 11月 郷土資料収集会議（1日 本館）
県読書グループ連絡協議会史跡見学
（5日 長崎市） |
| 9月 県立図書館協議会（17日 長崎市）
第2回県立長崎図書館講座（25日 本館） | 県公共図書館館長等会議（19日 長崎市）
第3回県立長崎図書館講座（27日 本館） |
| 10月 県図書館活動推進大会（18日 本館） | 12月 こども大会（18日 本館） |

★休館のお知らせ★

県立長崎図書館は、9月27日（月）～10月8日（金）まで、蔵書点検等のため休館いたします。期間中は図書検索や問い合わせ等は停止させていただきます。また、引き続き蔵書点検終了後、ホームページ（蔵書検索）もデータ整備のため停止いたします。

利用者の皆様には期間中ご迷惑おかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。